

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第20回）の審議要旨

- 1 日 時 平成28年8月3日（水） 10:25～11:10
- 2 場 所 山口県庁 共用第5会議室
- 3 出席者 進士委員長、上田委員、加登田委員、河村委員、正木委員
(委員長以外50音順)

I 報告事項

- 前回評価委員会（第20回）の審議要旨について

資料1により、事務局から説明。

《各委員了承》

II 審議事項

- ①平成27年度における業務の実績に関する評価について

- ・19回評価委員会で質問のあった来庁者数と市町別の技術支援状況等について、法人から回答。

産業技術センターの利用に地域差がある。開放機器をどのように使うとどのような効果が出てくるか、成果を企業にわかっていただいて、産業技術センターの認知度を高めていくようにしたい。また、下関市や萩市、長門市は技術相談が少ないが、食品系の企業が多いので、まずは食品系の企業の利用件数を増やす工夫が必要だと思っている。

《質疑応答・意見交換》 ●委員 ○センター

●技術相談件数の少ない市町を、どう改善していくかが課題。食品系企業が多いのであれば、食品製造においてどういう使い方があるか、例を示してはどうか。

○開放機器の使い方は示していきたい。また、これまで食品系の機器が割と更新されていない状況だったが、今年度、食品系の機器を4機器導入することにした。すぐに効果が出るものではないが、来年度ぐらいには効果が出てくると思っている。

●新しい機器について、企業にアナウンスをしっかり行っていただきたい。

○アナウンスの仕方について、ご相談に伺うので、よろしく願います。

●秘密保持で具体的に示せないものもあるだろうが、具体的事例について、産業技術センターの技術支援によって、こういう課題が、このように解決できるということを集めて、示していくと良いと思う。

○どういう方法で行うか、工夫が必要だと思う。2期中期計画の終わりぐらいには効果があったといえるよう取り組んでいきたい。

- ・評価書（素案）について、資料3により事務局から説明。

《各委員了承・評価書（原案）の決定》

※評価書の確定に当たり、評価の結果に影響がない範囲の修正等であれば、委員長に一任することとし、各委員の了承を得た。

②平成27年度における財務諸表等について

資料4により、事務局から説明。

《質疑等なし、各委員了承・評価書の決定》